

本複製物は、特許庁が著作権法第42条第2項第1号の規定により複製したものです。
取扱いにあたっては、著作権者等とならないよう十分にご注意ください。

2000 年電子情報通信学会通信ソサイエティ大会

時間・周波数拡散を行うマルチキャリアCDMA方式

B-5-90

A Multicarrier CDMA Scheme with Spreading in Time and Frequency Domains

佐野 祐康
HIROSHI SANJO

片岡 信久
Shinjiu KATAOKA久保 博嗣
Hiroyuki Kubo

三名 真
Makoto MTV ART

三井物産株式会社 情報技術総合研究所

Information Technology R&D Center, Mitsubishi Electric Corporation

[illegible][illegible][illegible]

ため、シミュレーションを行った。シミュレーションでは、全サブキャリア数を16とし、情報変調はQPSK、時間延延率は8とした。1スロット内のシンボル数は1サブキャリア当たり136シンボルとし、そのうちパイロット数は8、データ数は128シンボルとした。誤り訂正はバウチ化率 $1/2$ 、樹形長7の長短符号を用いた。伝送率は等電力2波レーザリーフエーキング方式のRF帯域幅 100MHz と仮定し、 100MHz のチャンネル帯域幅を用いた。

チャリクス(遺伝性疾患)と、上呼吸器(COPD)と、心臓病(心臓性不全)と、糖尿病と、高血圧と、脂質異常症と、がん、など、生活習慣病のリスクを減らすことが、健康増進の第一である。生活習慣病の予防には、禁煙、禁酒、適度な運動、バランスのとれた食生活、十分な睡眠、ストレスの軽減、などがある。生活習慣病の予防には、生活習慣の改善が最も効果的である。生活習慣の改善には、生活習慣病のリスクを減らすことが最も効果的である。生活習慣病の予防には、生活習慣の改善が最も効果的である。生活習慣の改善には、生活習慣病のリスクを減らすことが最も効果的である。

[2] 矢野龍二, 著, 佐々木啓, 監修: 電波伝播の基礎, 1997.

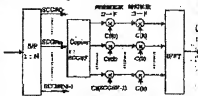


図1 家園型の複合施設

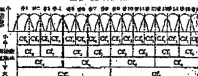


図2 脳神経細胞数100万の測定方法

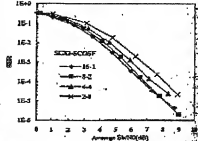


図3 ビット誤り率特性 (パワーコントロール時)

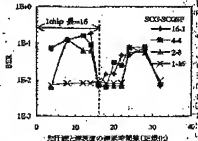


図4 2つのバスの遅延時間差とビット取り出しの遅延